

教育情報処理基礎

(1 単位)

専門 > 教育学部 > 基礎理解に関する科目等

1 年、2 年、3 年、4 年 前期
週間授業

小林 洵太 (kkobayas@u-fukui.ac.jp、0776-27-8703(2475)、教育学部 3 号館 2 F、実務経験：学校等)

塚本 充 (tukamoto@f-edu.u-fukui.ac.jp、0776-27-8798 (2509)、教育学部 3 号館 2 階、木曜 2 限時、実務経験：民間企業)

■ナンバリングコード

05-TTM-113 教育学部 学校教育課程 / 道徳, 総合学習, 生徒指導, 教育相談 [1 年次レベル]

■授業概要

本講義では、教育現場での情報処理技術に関する基礎的知識と技術を習得し、それを効果的に活用した授業や指導ができるようになることを目的とする。受講生はネットワークに接続されたパーソナルコンピュータに実際に触れながら、教育技術の基礎として、コンピュータの基本操作、インターネットの利用方法、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトなどのアプリケーションソフトの利用および指導法を学ぶ。また、教育情報化と情報倫理として、教育現場での情報化の重要性と、情報を適切に扱うための倫理について学ぶ。コンピュータリテラシーの習得は Giga スクール構想が実現した教育現場においては必須の技能であり、学部・コースの学習・教育目標達成に深い関わりがある。

■到達目標

コンピュータとネットワークを有効に活用して、迅速、かつ正確に教育現場で求められる情報処理ができること。

情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用できるようになる。

■授業内容

■授業は主として総合情報基盤センター利用ガイド号と学部指定テキストに基づいておこなわれる。

第 1 回：インターネット利用の留意点と情報倫理（塚本）

第 2 回：ワードプロセッサでの文章入力と修飾と指導法（小林）

第 3 回：ワードプロセッサでの図・表・数式の作成と指導法（小林）

第 4 回：表計算ソフトでの関数の利用と指導法（小林）

第 5 回：表計算ソフトでのグラフの作成と指導法（小林）

第 6 回：表計算ソフトでのデータベース処理と指導法（小林）

第 7 回：授業資料・教材作成のためのプレゼンテーション資料の作成と指導法（小林）

第 8 回：ふりかえりと最終課題（小林・塚本）

■準備学習（予習・復習）等

【予習】次回扱う内容に関して、「センター利用ガイド号」や学部指定テキストに目を通しておくことが望ましい。

【復習】その日までに扱ったコンピュータの活用方法などについて、ほかの授業の準備や課題作成に応用できれば、本授業の復習となっているとみなされる。

なお、毎回の予習・復習には、それぞれ 1 時間程度を要するものと思われる。

■授業形式

【授業形式】

講義、演習

講義、および講義をもとにした演習をおこなう。授業は情報処理演習室(共用講義棟 2 階)のパーソナルコンピュータを利用する。

■成績評価の方法

受講態度と課題提出(40%)、最終課題等(60%)により、厳密に点数化して判断する。

■教科書・参考書等

■総合情報基盤センターアーカイブ(Web 版)

「NETWORK -センター利用ガイド号 2018 年版-」

■学部選定テキスト(購入必須)

斎木他著：「Microsoft Office 2021 を使った情報リテラシーの基礎」、近代科学社(2022)

■その他注意事項等

次回授業までにテキストの指定箇所を入力しておくような課題を出すことがあるので、何かの都合でやむなく欠席したものは、その日の授業内容に加えて、課題等の有無とその内容をほかの受講生に確認しておくこと。

■実務経験のある教員としての授業内容

ICT 機器の教育現場への導入、学校の DX 化支援を行ってきた知見にもとづく授業

■キーワード

オペレーティングシステム

ワードプロセッサ

表計算

プレゼンテーション

アプリケーション間データ連携

■授業形態

対面授業

■SDGs

4.質の高い教育をみんなに